



発行：小網代ヨットクラブ  
〒238-0225  
神奈川県三浦市三崎町小網代 1385-18  
編集：広報委員会  
編集長：里吉美恵子  
連絡先：[office@koaziroyc.jp](mailto:office@koaziroyc.jp)

# 小網代通信

2022年 3月号 VOL-285

## 今月の内容

・連絡事項	編集委員	1ページ
・「小網代ヨットクラブ副会長就任にあたり」	五十嵐 光 (飛車角)	2ページ
・「JSAF 功績賞受賞の報告」	大谷 正彦 (KELONIA)	2ページ
・「オーナー(代表者)交代 3艇からのご挨拶(艇名: 八丈・ABI・アップサラス)」	林 正明(八丈) 大中 和茂(ABI) 相馬 明人(アップサラス)	3~4 ページ

## 連絡事項 (編集委員)

### 1. < イベント報告と予定 >

- ・2月16日(水) 小網代ヨットクラブ定時総会、基金総会及び小網代フリート総会を開催しました。オンラインでの開催に20艇のオーナー(代表者)が参加されました。各総会は委任状20票を含めて議決定足数を満たし、野村KYC会長、会計担当、フリートキャプテンの議事進行により、全議案の承認を得られ予定時間内に終了しました。
- ・2月20日(日) KFR(2月)湘南レースとの合同レース 中止  
「まん延防止等重点措置」が3月6日まで延長されたため
- ・3月20日(日) KFR(3月) 中止  
「まん延防止等重点措置」が3月21日まで延長されたため

### 2. < オーナー(代表者)の交代 と 副会長職の交代 >

定時総会にて、八丈・ABI・アップサラスの3艇の交代が承認されました。交代には、クラブのオーナー2名の推薦を得て、総会での全員の賛成が必要とされます。3艇の新オーナー(代表者)によるご挨拶を3~4ページに掲載しております。また、小川副会長が仕事上の関係で辞任され、後任に「飛車角」五十嵐 光氏が副会長に承認されました。2ページに掲載しています。

### 3. < JSAF 定期表彰で功績賞受賞報告 >

先月号で速報しましたように「KELONIA」大谷正彦氏が日本セーリング連盟の功績賞に顕彰され、その経緯を寄稿していただきました。2ページに掲載しています。是非ご覧ください。

### 4. < コロナ禍、北京パラリンピック開催中にもかかわらずウクライナが悲惨なことに… >

ロシアによるウクライナ侵攻、思ってもみないことが起きています。ロシアは隣国、日本は…。



【小網代ヨットクラブウェブサイト情報】 URL <http://koaziroyc.jp>

【次回予定 総務委員会 3月22日(火)20:00~ web会議開催予定】

2022. 3月号-1

## 「小網代ヨットクラブ副会長就任にあたり」

飛車角 五十嵐 光

この度、小網代ヨットクラブ副会長を拝命致しました、飛車角でお世話になっております五十嵐 光(いがらしこう)と申します。現在小網代ヨットクラブのルール委員長及び三浦OSCの理事を務めさせて頂いております。諸先輩方が代々築き上げた歴史と伝統のあるクラブの副会長を務めさせて頂くと言う事で、大変光栄で有り、その重責に気の引き締まる思いです。野村会長を補佐し、長年お世話になっているクラブに少しでもお返し出来ればと考えております。

私ですが、社会人になってヨットを始め、現在は飛車角にお世話になるとともに油壺にて共同所有艇(香、Archambault25)や数艇の小網代クラブ艇に乗船させて頂き、パールレースや小笠原レース等外洋を含むレースの参戦や、年に数回のクルージングに出たりしております。

クラブの名に恥じない様頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



————☆————☆————☆————☆————

### JSAF功績賞受賞の報告

KELONIA 大谷 正彦

先月の小網代通信で速報されたように、このたび私は日本セーリング連盟(JSAF)から2021定期表彰で功績賞を受賞しました。昨年10月三浦外洋セーリングクラブ(三浦OSC)の理事会にて推薦いただき、その後JSAF本部で審査の上承認され、受賞される運びになりました。受賞式に先立って公表されたため、早々と皆様からお祝いの言葉等をいただきました。ここにお世話になりました皆様方に厚く御礼申し上げます。

以下、私ごとで恐縮ですが 受賞に至った経緯等について簡単に報告いたします。

#### 表彰に至った経緯

1999年に日本外洋帆走協会(NORC)が日本ヨット協会(JYA)と合体しJSAFになったときに、NORCの三浦支部の支部長であった私がJSAFの外洋三浦支部(後に三浦OSCに改称)の会長になり、4年間NORCからの橋渡ししとJSAFの外洋加盟団体(三浦OSC)の基礎を築いたことが評価されたようです。

今年1月 JSAF本部から「1月29日に夢の島の会場で開催の全国加盟団体代表者会議の席上で表彰式を行うので出席願いたい」との通知がありました。しかし、新型コロナ オミクロン型感染症の蔓延の影響でこの会議と表彰式は中止になり、「表彰式中止に伴い表彰対象者あてに表彰状等を送付する」との通知をもらいました。

#### 表彰状等の受け取り

表彰状等は2月26日に宅配便で到着し、記念品として写真のようなエンブレムが入っていました。



なお、JSAFから2022年3月発行予定の機関紙「J-Sailing」に定期表彰受賞者の紹介を予定しているとの通知がありました。

2022.03.04 記



左:功績賞表彰状  
右:記念品の JSAF エンブレム  
HONORED SEAMANSHIP  
とある

## オーナー(代表者)交代 3艇からのご挨拶(艇名: 八丈・ABI・アプサラス)

### 【 八丈VI 林 正明 】

永年小網代ヨットクラブを愛した故近藤禎之の遺志を継ぎ、この度チーム八丈の代表を務めさせて頂くことになった林です。

小網代に通い始めて 50 年が経ちました。桜工にヨット入門、卒業する頃の 1976 年に八丈Ⅲが進水！ デビュー戦の初島レースで優勝し、沖縄レースも準優勝！

当時は 1978 年の Q-ton world に向けレース熱が高まっていた時代でしたが、近藤さんから誘われ 1/2ton の八丈Ⅲの人足になりました。以来、八丈島、三宅島、神子元、大島、洲本-小網代レースなど N O R C 本部主催の殆どのレースに参加させて頂き、近藤さんには相当に鍛えられたと思っております。



その後も近藤さんのレース熱は冷めやらず 1/2ton→KIHARA 3/4ton ワンオフに乗り換え Japan Cup などレース三昧の日々を過ごしました。



在りし日の近藤さん

やがて私も人足からクルーに格上げとなり、艇名由来である八丈島レースでの優勝を目指しましたが、八丈レースで勝てない「八丈」の汚名挽回をすることは出来ず、Race boat は諦め、クルージングを楽しもう！とハウステンボスに浮かんでいた試乗艇を長崎から廻航してきたのが現在の Feeling1090 です。これまでの Race Boat とは違い優雅な艇速ですが、それでも 50<sup>th</sup> 鳥羽 Race で C クラス3位に入賞した時は、近藤さんも大変喜んでくれたものです。

チーム八丈のメンバーもいろいろ歴史があり、千葉大・くろしお出身の近藤さん後輩の栗山正也(建築家)、太枝良夫(外科医)、元ホテルテルオーナーの故山口照雄さんの早稲田の同期 石田順康(元 Mining 屋)、同後輩の小泉直樹(元 Banker)、同(故)横川虎雄、桜工出身の(故)玉口徹、後輩の牧野辰也(Cosmetology)、同後輩 本間成利(不動産屋)、それに興嶺敏彦(photographer)、佐伯龍彦(Captain)、柿沼敦雄、そして私(林)でしたが、現在のメンバーは 10 名となっています。

50 有余年を経て、私をはじめ各メンバーともオールドセーラーズの仲間入りをしましたが、近藤が愛した小網代湾並びに関係者の皆さま、KYC の皆様には今後ともお世話になりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



【 ABI 大中和茂 】

ABI の新代表オーナーになりました大中和茂です。  
2013 年より小網代ヨットクラブでお世話になっています。

メンバーの 9 人全員が広島大学ヨット部の OB で、広島  
県の鳥であるアビが艇名です。

大学選手権を目指してディングーの練習ばかりしていた  
メンバーがほとんどです。瀬戸内海と比べ風が強うね  
りも大きい相模湾で、雄大な富士山を眺めながらのセー  
リングを楽しんでいます。房総半島や伊豆半島へのクルー  
ジングはできたのですが、現役が多かったことや天候の  
都合等で、もっと遠い場所へはたどり着いていません。こ  
のため、広島に行くことを当面の目標としています。

今後ともご指導くださいますようお願いいたします。



2016 年上架時の一枚

【 アプサラス 相馬 明人 】

加山雄三に憧れて 50 年！ヨットに乗って 33 年！



光進丸にて

インド神話の水の妖精「アプサラス」オークレット 26 一筋の相馬です。

いつのまにやらロンリーセーラーですが、元は 5 人で始めました。  
人はわたしをソーマンと呼んでいます！料理の腕はまあまあですが、レ  
ースの腕はさっぱりです(笑)！家でも船でも良く料理をしています。居  
酒屋アプちゃん営業中は、いつでも遊びに来てください！

この度、歴史と伝統のある KYC の一員において代表オーナーとして  
の責任ある立場となり、安全な  
船の維持管理はもとより、益々  
のクラブ発展にも努めて参りたい  
と考えております。



諸先輩方に比べれば、まだ  
まだヒヨッコではございますが、  
どうぞ宜しくお願い致します。